

雨中の投てきに苦しむ浅木



男子400m(第一位:50秒39)
高橋 宇理弥(1分00秒29)
男子800m(第一位:1分56秒41)
高橋 宇理弥(2分18秒46)
女子やり投(第一位:36m78)
浅木 玲音(26m30)

ニンジニアスタジアム

5月2、3日

第81回中予陸上競技選手権大会

県総体まで一か月

MATSURO
T&F通信



Vol.175
R8.5.8

課題
あらわ



男子800m前半、好位置につける高橋

中予選手権大会に、本校からは浅木、高橋が参加。現在持てる力を確認した。

浅木は前回自己ベストを出した投てきとは一転、雨の影響もあって投てきの角度があがらず、記録を伸ばせなかった。雨にも負けないパワーとメンタルが求められる。

高橋は軽快な走り前半好位置につけるも、後半速度を保てず、自己ベストからはほど遠い記録となった。自身でも練習不足を口にしていたが、スタミナ不足だ。

浅木と高橋は今シーズン、総体と全聾に標準を定めている。県総体まで一か月、全聾まで5か月。そこでの活躍のために今回の悔しさを胸に、課題と真正面から向き合う。